



Y.Hatanaka

THE FUJI STAKES

第28回 富士ステークス (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 59,000,000円 24,000,000円 15,000,000円 8,900,000円 5,900,000円
付加賞 994,000円 284,000円 142,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55⁺ 4歳以上57⁺ 牝馬2⁺減、2024.10.12以降G I競走(牝馬限定競走を除く) 1着馬2⁺増、
牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く) 1着馬1⁺増、2024.10.11以前のG I競走(牝馬限
定競走を除く) 1着馬1⁺増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.10.18 東京 豊・曇 芝1600m (国産) (指定)

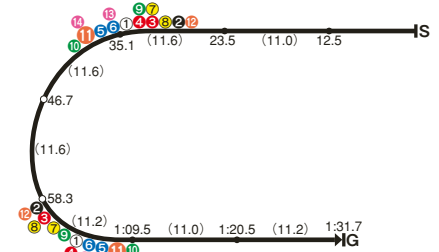
着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑪	ガイアフォース	牡 6	57	横山武史	1:31.7	2-2	33.3	496(+2)	7.1⑩	杉山晴紀(栗東)	117
2	⑭	ジャンタルマンタル	牡 4	59	川田将雅	1/2	2-3	33.3	506(+8)	1.9①	高野友和(栗東)	120
3	⑥	ソウルラッシュ	牡 7	59	団野大成	1/4	5-5	33.4	514(+2)	7.2④	池江泰寿(栗東)	116
4	⑧	ジュンブロッサム	牡 6	58	石川裕紀人	クビ	12-11	32.8	470(-4)	32.8⑨	友道康夫(栗東)	114
5	④	ウンブライル	牝 5	55	C.ルメール	クビ	8-7	33.2	492(+12)	23.3⑧	木村哲也(美浦)	
6	⑤	キーパカルム	牡 4	57	坂井瑠星	1	8-9	33.3	488(-8)	17.6⑥	中竹和也(栗東)	
7	⑬	ファージェント	牡 4	57	佐々木大輔	1	5-5	33.7	508(-2)	42.4⑫	藤原英昭(栗東)	
8	⑩	シャンパンカラー	牡 5	58	戸崎圭太	アタマ	14-13	33.1	516(+2)	18.6⑦	田中 剛(美浦)	
9	②	ウォーターリヒト	牡 4	57	菅原明良	アタマ	13-13	33.0	462(-6)	15.9⑤	石橋 守(栗東)	
10	①	マジックサンズ	牡 3	55	武 豊	2 1/2	7-7	34.0	520(+6)	6.1③	須貝尚介(栗東)	
11	⑦	ニシノスーベニア	牡 6	57	大野拓弥	3/4	10-10	33.8	530(+8)	94.5⑪	上原博之(美浦)	
12	⑤	レイベリング	牡 5	57	津村明秀	1/2	4-3	34.6	484(+2)	219.4⑬	鹿戸雄一(美浦)	
13	⑩	グリューネグリーン	牡 5	57	石橋 脩	1/2	1-1	34.9	490(-12)	216.7⑫	相沢 郁(美浦)	
14	③	シャイニーロック	牡 9	57	山本聡哉	4	10-11	34.6	502(-7)	235.0⑭	佐々木由則(岩手)	

単勝⑪710円(3¹/₂) 複勝⑪160円(2¹/₂) ⑭110円(1¹/₂) ⑥160円(3¹/₂) 枠連⑦-⑧480円(1¹/₂)

馬連⑪-⑭620円(2¹/₂) ワイド⑪-⑭270円(2¹/₂) ⑥-⑪580円(6¹/₂) ⑥-⑭250円(1¹/₂)

馬単⑪-⑭1,800円(6¹/₂) 3連複⑥-⑪-⑭1,020円(1¹/₂) 3連単⑪-⑭-⑥7,130円(11¹/₂)

5重勝②④⑤⑥⑪24,600円(13,431票) 対象競走：京都10R/東京10R/新潟11R/京都11R/東京11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
35.1 - 46.7 - 58.3 45.0 - 33.4

アラカルト

- ・横山武史騎手は富士S初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算27勝目
- ・杉山晴紀調教師は富士S初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算24勝目
- ・キタサンブラック産駒はJRA重賞通算23勝目
- ・6歳馬の勝利は初
- ・ガイアフォースはマイルチャンピオンシップ(GI)に優先出走できる

ガイアフォース Gaia Force

牡 芦毛 2019.2.21生
北海道安平町 追分ファーム生産
馬主・K R ジャパン 栗東・杉山晴紀厩舎
馬名意味・ガイア(ギリシャ神話に出てくる地母神)の力

ノーベンバーローズUSA系 F16-a

キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シュガーハート 鹿毛 2005	サクラバクシンオー オトメゴコロ
ナターレ 芦毛 2008	クロフネUSA 芦毛 1998	French Deputy Blue Avenue
	ロージーチャーム 鹿毛 2001	ダンスインザダーク クリスマスローズ

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4
ノーザンテストCAN M4×S5 Lyphard S5×S5

INTERVIEW

平沼敏幸 厩舎長(追分ファームリリーバレー)

久しぶりの勝利に喜びはひとしおです

今年の夏も牧場で調整を任せていただきました。いつも元気があり余っている馬ですが、年齢のせいか乗り運動はゆったりと行えました。送り出す時にはあまり太くならないようにと思っていたので、馬体重(+2kg)やパドックでの姿を見ていい状態でレースに臨めるのではないかと期待をしていました。久しぶりの勝利なので喜びはひとしおです。次走も楽しみです。

M. Takahashi



先導役は手綱を押して飛び出したグリーネグリーンが務め、自然体で好位につけたガイアフォースの横山武史騎手は、3コーナー手前で2番手に腰を落ち着ける。ジャンタルマンタルは折り合いに専念しながら直後の3番手を追走。対してマジックサンズはソウルラッシュとともに、中国で末脚勝負に構えた。

見た目よりも緩みのないラップを刻んで逃げたグリーネグリーンは直線に向くと失速。早めにこれをかわしたガイアフォースにジャンタルマンタルが楽な手心で並びかけ、坂の上りからは2頭が一騎打ちで勝利を争う形勢に。満を持して仕掛けられたジャンタルマンタルだったが、ガイアフォースも迫られるほど伸び、しぶとく抵抗。マークされた相手の追撃を抑え込み、先頭でゴールを駆け抜けた。

新馬戦でドウデュースの2着(クビ差に食い下がった後、骨折が判明して約半年の休養を余儀なくされた本馬は3歳時の秋に頭角を現し、セントライト記念で重賞ウイナーの仲間入り。その後は長らく白星から遠ざかっていたものの、昨年のフェブラリーステークスで2着、今年の安田記念でも2着に迫り込むなど、随所で存在感を見せ付けてきた。2kgの斤量差も利したとはいえ、春のマイル王を振り切ったこの日の粘り腰は目を引くもの。3年ぶりに手にした勝利を悲願の戴冠に繋げたい。

父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC^{G1}、菊花賞^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(春)^{G1}2回、天皇賞(秋)^{G1}、大坂杯^{G1}、京都大賞典^{G2}、スプリングS^{G2})、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用
〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}2回、宝塚記念^{G1}、ドバイシーマクラシック・首^{G1}、東京スポーツ杯2歳S^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、皐月賞^{G1}2着)、クロウデュノール(日本ダービー^{G1}、ホープフルS^{G1}、東京スポーツ杯2歳S^{G2}、フランスドラージュ賞・仏^{G3}、皐月賞^{G1}2着)、ソールオリエン(皐月賞^{G1}、京成杯^{G3}、日本ダービー^{G1}2着)、ウィルソントーロ(JBCクラシック^{Jh}I、マイルチャンピオンシップ南部杯^{Jh}I)、ガイアフォース(本馬)、スキルヴィング(青葉賞^{G2})、エコロデュエル(中山グランドジャンプ^J^{G1})、他に重賞勝ち馬多数

母ナターレ

北海道安平町 追分ファーム生産 地方25戦9勝(しらさぎ賞、戸塚記念、クラウンC、OROカップ2回、笠松グランプリ2着、ロジータ記念3着)
ヴィジリア(15 牡父キングカメハメハ)中央8戦0勝、地方16戦1勝
ユール(16 牡父キングカメハメハ)地方5戦0勝
ナビダードウ(17 牝父フェノメノ)地方14戦2勝
ナヴィリオ(18 牡父ジャスタウエイ)中央10戦0勝、地方33戦3勝
ガイアフォース 本馬(19 牡父キタサンブラック)中央18戦4勝(富士S^{G2}、セントライト記念^{G2}、国東特別、安田記念^{G1}2着、フェブラリース^{G1}2着、マイラーズC^{G2}2着)、香1戦0勝 獲得総賞金373,344,000円
インナースティール(20 驕父リアルスティール)地方13戦8勝(21 不受胎)
ジョワイユノエル(22 牝父キタサンブラック)中央6戦1勝(23 牝父キタサンブラック)
(24 牝父ドレフォンUSA)
(25 牝父ルヴァンスレーヴ)
祖母ロージーチャーム
北海道三石町 追分ファーム生産 中央1勝。18年死亡
ロサガリカ(07 牝父フレンチデビュティUSA)中央0勝、地方1勝(栄冠賞3着)、スティローザ(園田プリンセスC)の母
ナターレ(08 前出)
ルイドフィーネ(17 牝父サウスヴィグラスUSA)地方3勝(ロジータ記念、しらさぎ賞2着、ローレル賞2着、東京プリンセス賞3着、桜花賞3着)

マイル王を振り切って3年ぶりの勝利

マイルチャンピオンシップを目指す馬たちの「関東の前哨戦」と位置付けられている富士Sには、安田記念の覇者ジャンタルマンタルが参戦。春秋マイルGI制覇に向け、ここから始動する4歳馬が単勝1・9倍と圧倒的な支持を集めた。NHKマイルCで僅差の2着に食い込んだ3歳馬マジックサンズが打倒候補の筆頭格と目されたものの、レースの上位は古馬勢が独占。3番人気の6歳馬ガイアフォースがジャンタルマンタルを2着、GI2勝の7歳馬ソウルラッシュを3着に従えて、久しぶりの勝利を掴んだ。

一番の好スタートを切ったのは大外枠を引いたジャンタルマンタル。しか